

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【公表番号】特表2009-500186(P2009-500186A)

【公表日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-521035(P2008-521035)

【国際特許分類】

B 2 4 D 15/02 (2006.01)

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 15/02 C

B 2 4 D 11/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

研磨層、可撓性の材料で製造されている実質的に平面の前記研磨層の支持体、前記支持体の裏面に塗布された接着層、及び前記接着層に塗布された可剥性の層を含む、指に接着しうる研磨パッドであって、サンディング作業の開始前に前記接着層により指先に貼り付けうる研磨パッド。

【請求項 2】

前記支持体が、サンディング作業中に指先への損傷を防ぐように十分な寸法であり、かつ指先に接着しうる請求項 1 記載の研磨パッド。

【請求項 3】

前記支持体が、実質的に前記研磨層と同一の寸法である請求項 2 記載の研磨パッド。

【請求項 4】

前記支持体が、ストリップの形態で又はロールで製造される請求項 2 記載の研磨パッド。

【請求項 5】

複数の研磨パッドが、共有の可剥性の層に剥離できるように付着している請求項 1 記載の研磨パッド。

【請求項 6】

宝石類の研磨又は磨き作業、マニキュア、パンクした自転車のタイヤの修理、電子装置のケーシングの平滑化、金属加工用途、及び木工用途の群から選択されるサンディング作業に適する請求項 1 記載の研磨パッド。

【請求項 7】

前記研磨層が、平均粒径が約 60 乃至 1000 μ の、酸化アルミニウム、ガーネット、セラミック、及び炭化珪素の群から選択される研磨粒子から製造される請求項 1 記載の研磨パッド。

【請求項 8】

実質的に記載され説明されたような指に接着しうる研磨パッド。